

市民アンケート調査結果の概要版

1. 目的

「湯沢駅周辺複合施設整備基本構想（以下、「基本構想」という。）」において取りまとめた導入機能に対して、市民の皆様は、既存施設の利用状況や不便な点について意見聴取するとともに、民間施設の導入も踏まえた新しい施設のイメージや利用方法についての意見を把握することで、新たに整備する施設の機能・規模及び複合施設整備基本計画策定の参考とする。

2. 調査対象等

市民アンケート調査は、以下の調査対象、調査期間、調査方法により実施した。

表 1 市民アンケート調査の対象と調査期間

項目	内容
調査対象	令和3年4月1日現在で湯沢市に在住する満15歳以上の方を住民基本台帳から無作為に抽出した1,400人
調査期間	令和3年4月28日～令和3年5月16日
調査方法	無作為抽出により郵送配布、郵送回収 ※あて名のご本人が回答

3. 回収率

市民アンケート調査の回収状況を以下に示す。

表 2 市民アンケート調査回収率

配布数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A×100)
1,400 票	563 票	40.2%

4. 調査項目

市民アンケート調査の調査項目を以下に示す。

表 3 市民アンケートの調査項目

■回答者ご自身のことについて			
問 1	あなたの性別は？	問 2	あなたの年齢は？
問 3	あなたの居住地は？	問 4	あなたの職業は？
問 5	あなたの居住年数は？	問 6	あなたの家族構成は？
■既存の公共施設について			
問 7	各施設（湯沢生涯学習センター、湯沢図書館、湯沢市子育て支援総合センター、雄勝郡会議事堂記念館、ジオスタ☆ゆざわ、院内银山異人館、稲庭城、川連漆器伝統工芸館）の利用経験は？		
問 8-1	「湯沢生涯学習センター」の利用目的は？	問 8-2	「湯沢生涯学習センター」の利用頻度は？
問 8-3	「湯沢生涯学習センター」の主な利用時間帯は？	問 8-4	「湯沢生涯学習センター」利用時の交通手段は？
問 8-5	現在の「湯沢生涯学習センター」の不便な点は？		
問 9-1	「湯沢図書館」の利用目的は？	問 9-2	「湯沢図書館」の利用頻度は？
問 9-3	「湯沢図書館」の主な利用時間帯は？	問 9-4	「湯沢図書館」利用時の交通手段は？
問 9-5	現在の「湯沢図書館」の不便な点は？		
問 10-1	「湯沢市子育て支援総合センター」の利用目的は？	問 10-2	「湯沢市子育て支援総合センター」の利用頻度は？
問 10-3	「湯沢市子育て支援総合センター」の主な利用時間帯は？	問 10-4	「湯沢市子育て支援総合センター」利用時の交通手段は？
問 10-5	現在の「湯沢市子育て支援総合センター」の不便な点は？		
問 11-1	雄勝郡会議事堂記念館を利用しなかった理由は？	問 11-2	ジオスタ☆ゆざわを利用しなかった理由は？
問 11-3	院内银山異人館を利用しなかった理由は？	問 11-4	稲庭城を利用しなかった理由は？
問 11-5	川連漆器伝統工芸館を利用しなかった理由は？		
■新たに整備する複合施設について			
問 12	新しい施設をどんな空間・雰囲気にしたいた？	問 13	市が提供する公共サービスの中でどのようなことをしたい？
問 14	公共機能と一緒に整備してほしい民間機能やサービスは？		

5. 調査結果の概要

市民アンケート調査結果の概要を以下に示す。

■回答者ご自身のことについて

(1) 回答者の属性について (問1～問6) ⇒報告書10～15ページ参照

- 性別は男性が47.4%、女性が51.5%であった。
- 年齢は各年齢層で概ね同程度の回収率であった。
- 居住地域は「湯沢地域」で最も多い(63.6%)。
- 職業は「会社員」で最も多く(39.3%)、「高校生」2.7%、「大学生・専門学生」2.7%であった。
- 居住年数は「30年以上」で最も多く(64.8%)、10年未満の合計は8.7%であった。
- 家族構成は「2世代同居(親・子)」が最も多い(49.4%)。

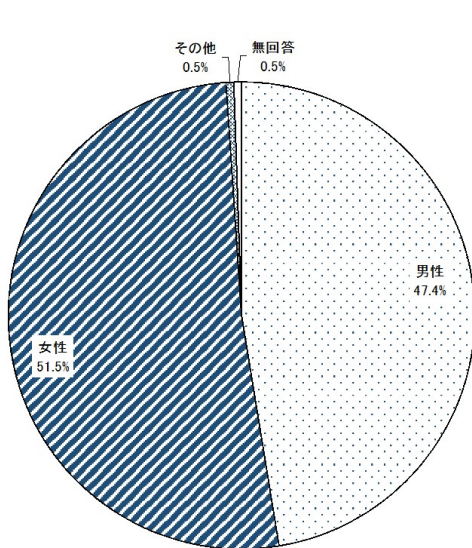


図1 性別

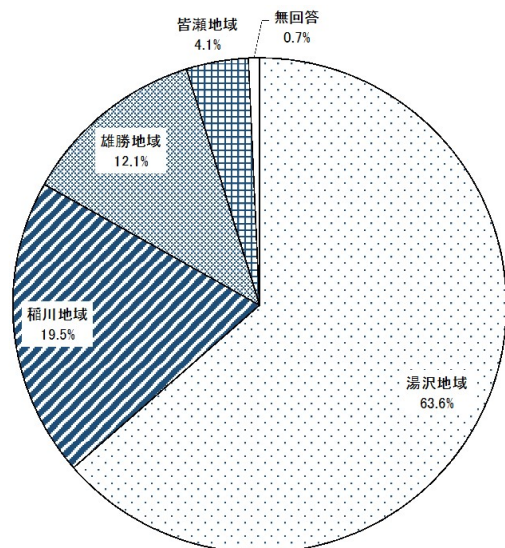


図3 居住地域

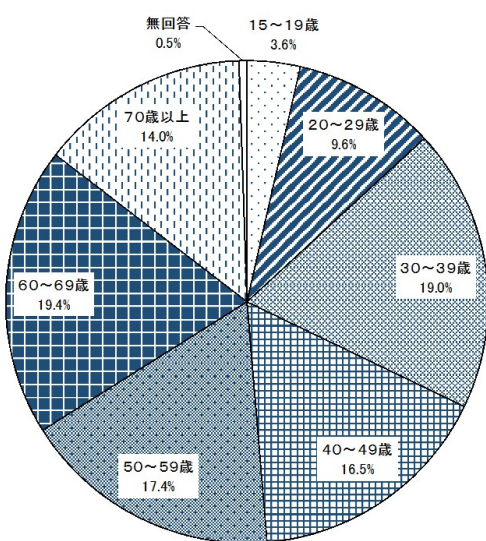


図2 年齢

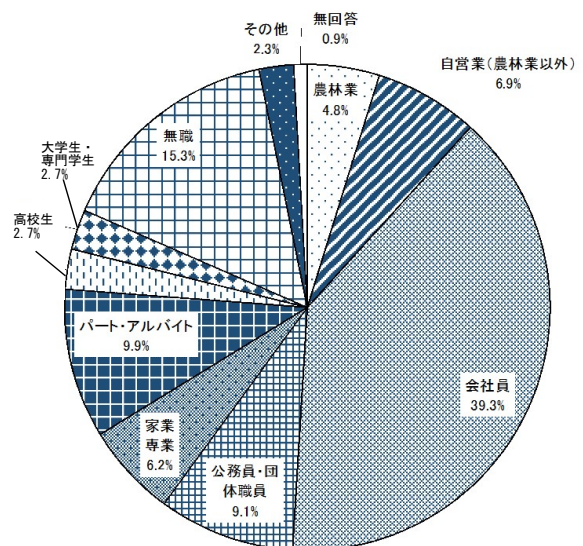


図4 職業

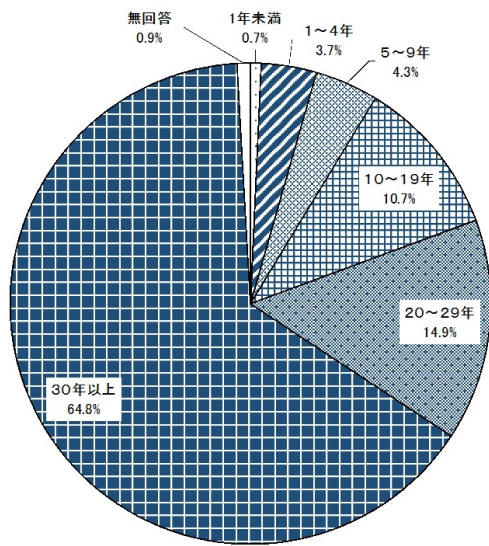


図 5 居住年数

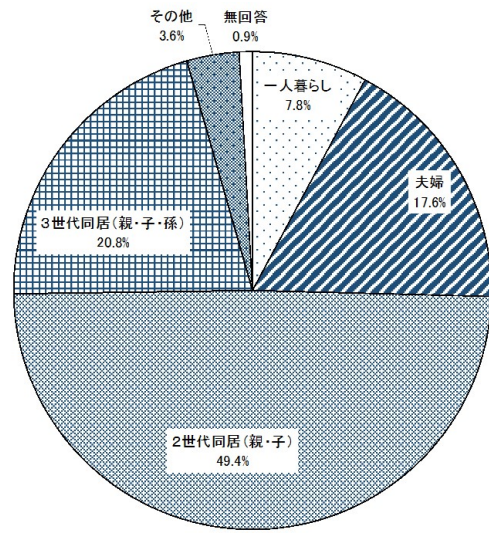


図 6 家族構成

■既存の公共施設について

(2) 既存施設の利用経験について（問 2×問 7）⇒報告書 17 ページ参照

- 各既存施設の利用経験の割合が高い年齢層は以下のとおりである。
 - ・ 湯沢生涯学習センター：50 歳以上
 - ・ 湯沢図書館：10 代～60 代
 - ・ 湯沢市子育て支援総合センター：30 代～40 代（及び、その子ども）

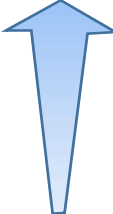
表 4 各既存施設の年齢別の利用経験（一部抜粋）

既存施設	15 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 歳 以上
湯沢生涯学習センター	20.0%	25.9%	34.6%	35.5%	45.9%	47.7%	54.4%
湯沢図書館	60.0%	66.7%	67.3%	65.6%	64.3%	53.2%	41.8%
湯沢市子育て支援総合センター	5.0%	16.7%	30.8%	29.0%	5.1%	4.6%	1.3%

(3) 既存施設の利用目的について（問 8-1、9-1、10-1）⇒報告書 19、25、31 ページ参照

- 各既存施設の利用目的として、回答割合の高い順に表 5 のとおりであった。

表 5 各既存施設の利用目的に対する回答割合の高い項目（一部抜粋）

利用目的に対する 回答割合	湯沢生涯学習センター (回答者 229 人)	湯沢図書館 (回答者 335 人)	湯沢市子育て支援総合 センター (回答者 82 人)
1 番高い 	市が主催する講習会・イベント等へ参加する(41.5%)	本・雑誌を借りる(55.5%)	子どもを遊ばせる(80.5%)
	ロビー等でくつろぐ(友人たちと談笑する) (21.4%)	本を読む(51.0%)	すこやか広場のイベントに子どもと参加する(30.5%)
	施設を借りて、個人・少人数グループで利用する(19.2%)	勉強・仕事をする(37.9%)	子育ての情報を得る(22.0%)
	⋮	調べものをする(31.3%)	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮

(4) 既存施設の利用頻度について（問 8-2、問 9-2、問 10-2）⇒報告書 21、27、32 ページ参照

- 湯沢市子育て支援総合センターでは、湯沢生涯学習センターや湯沢図書館に比べて、「月 1～2 回程度」以上の利用頻度である利用者が多い。

表 6 各既存施設の利用頻度に対する回答割合（一部抜粋）

既存施設の利用頻度	湯沢生涯学習センター (回答者 229 人)	湯沢図書館 (回答者 335 人)	湯沢市子育て支援総合センター (回答者 82 人)
ほぼ毎日	0.0%	0.0%	0.0%
週 1～3 回程度	3.9%	2.7%	13.4%
月 1～2 回程度	7.0%	10.7%	19.5%
数か月に 1 回程度	12.2%	19.1%	18.3%
年に 1 回程度	10.5%	11.0%	2.4%
過去に数回程度	64.6%	54.3%	46.3%

(5) 既存施設の利用時間帯について（問 8-3、問 9-3、問 10-3）⇒報告書 22、28、33 ページ参照

- 各既存施設の利用時間帯について、回答割合が高い時間帯が重なるのは、「平日の正午～17 時」の時間帯と考えられる。

表 7 各既存施設の利用時間帯に対する回答割合（平日・休日別）

平日の利用時間帯	開館	～	正午	～	放課後	～	閉館
湯沢生涯学習センター	8:30	14.0%	12:00	31.0%	17:00	24.0%	22:00
湯沢図書館	9:30	16.4%	12:00	46.6%	17:00	8.4%	18:30
湯沢市子育て支援総合センター	8:30	58.5%	12:00	23.2%	17:00（閉館）		
休日の利用時間帯	開館	～	正午	～	放課後	～	閉館
湯沢生涯学習センター	8:30	13.1%	12:00	21.8%	17:00	8.7%	22:00
湯沢図書館	9:00	21.5%	12:00	27.2%	17:00（閉館）		
湯沢市子育て支援総合センター	8:30	37.8%	12:00	8.5%	17:00（閉館）		

(6) 既存施設の不便な点について（問 8-5、9-5、10-5）⇒報告書 24、30、35～36 ページ参照

- 各既存施設のハード面／ソフト面に対する不便な点として、回答割合の高い順に以下のとおりであった。

表 8 各既存施設の不便な点(ハード面)に対する回答割合の高い項目(一部抜粋)

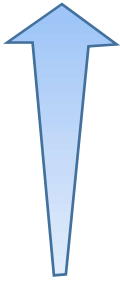
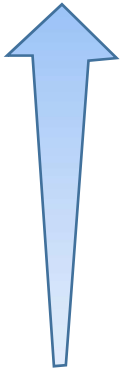
ハード面に対する 回答割合	湯沢生涯学習センター (回答者 229 人)	湯沢図書館 (回答者 335 人)	湯沢市子育て支援総合 センター (回答者 82 人)
1 番高い 	施設が古い・狭い・汚い (66.8%)	駐車場・駐輪場が少ない (64.8%)	駐車場・駐輪場が少ない (67.1%)
	駐車場・駐輪場が少ない (41.5%)	施設が古い・狭い・汚い (31.9%)	施設が古い・狭い・汚い (24.4%)
	くつろぐためのスペースがない・使いにくい(19.7%)	閲覧席や学習席の席数が少ない(18.2%)	子どもの遊び場、遊具等が充実していない (23.2%)
	バリアフリー化が不十分 (16.6%)	公共交通機関が利用しにくい(17.3%)	未就学児の利用に限られ、就学時の兄弟(姉妹)と一緒に利用できない (15.9%)
⋮	⋮	⋮	⋮

表 9 各既存施設の不便な点(ソフト面)に対する回答割合の高い項目(一部抜粋)

ソフト面に対する 回答割合	湯沢生涯学習センター (回答者 229 人)	湯沢図書館 (回答者 335 人)	湯沢市子育て支援総合 センター (回答者 82 人)
1 番高い 	市の主催するイベントの回数・バリエーションが少ない (15.9%)	蔵書が少なく、読みたい本がない(19.1%)	日曜日、祝日が休館日で利用できない (43.9%)
	多目的な利用に適した部屋がない(13.3%)	使いにくい(本棚が高い・本が探しにくい等) (8.1%)	ファミリー・サポート・センターで子どもを預けるためのハードルが高い (9.8%)
	利用申込みが分かりにくい・予約が取りにくい(9.7%)	開館時間が短い (7.8%)	地域の子育てに関する情報が得られにくい (8.5%)
	貸出の備品(スポーツ用具等)が充実していない (8.4%)	図書館の宅配サービス、リクエストサービスが不十分 (3.6%)	相談する環境が整っていない(プライバシーが保たれていない) (6.1%)
⋮	⋮	⋮	⋮

(7) 既存施設における公共交通の利用について（問 8-4、問 9-4、問 10-4）（問 8-5、9-5、10-5）

⇒報告書 23～24、29～30、34～36 ページ参照

- 既存施設で実際に公共交通機関（路線バス、鉄道）を利用している利用者の回答割合に対して、不便な点として「公共交通機関が利用しにくい」の回答割合が高い。（各設問の回答者の母数は既存施設ごとに同数）

表 10 各既存施設の公共交通に関連する設問に対する回答割合（一部抜粋）

各設問に対する 回答割合	湯沢生涯学習センター (回答者 229 人)	湯沢図書館 (回答者 335 人)	湯沢市子育て支援総合 センター (回答者 82 人)
既存施設への交通手段 として公共交通を利用	2.2% (路線バス 2.2%、鉄道 0.0%)	1.8% (路線バス 1.2%、鉄道 0.6%)	0%
不便な点として公共交 通機関が利用しにくい	10.0%	17.3%	12.2%

(8) 既存の歴史資料展示施設の利用経験について（問 3×問 7）⇒報告書 18 ページ参照

- 既存の歴史資料展示施設の居住地域別の利用経験では、当該施設の立地地域における居住者の利用経験が多い傾向にある。

表 11 既存の歴史資料展示施設の居住地域別の利用経験

既存の歴史資料展示施設	湯沢 地域	稲川 地域	雄勝 地域	皆瀬 地域
雄勝郡会議事堂記念館	20.4%	10.0%	11.8%	4.3%
郷土学習資料展示施設（ジオスタ☆ゆざわ）	8.1%	10.0%	10.3%	4.3%
院内銀山異人館	18.2%	18.2%	52.9%	13.0%
稲庭城	31.3%	69.1%	27.9%	65.2%
川連漆器伝統工芸館	21.2%	50.0%	26.5%	21.7%

（参考）各施設の立地地域

- ・ 雄勝郡会議事堂記念館：湯沢地域
- ・ 郷土学習資料展示施設（ジオスタ☆ゆざわ）：湯沢地域
- ・ 院内銀山異人館：雄勝地域
- ・ 稲庭城：稲川地域
- ・ 川連漆器伝統工芸館：稲川地域

(9) 既存の歴史資料展示施設を利用しなかった理由について（問5×問11-1、問5×問11-2）

⇒報告書 37～40 ページ参照

- 既存の歴史資料展示施設（雄勝郡会議事堂記念館、郷土学習資料展示施設（ジオスタ☆ゆざわ）、院内銀山異人館、稲庭城、川連漆器伝統工芸館）のうち、これまで「雄勝郡会議事堂記念館」「郷土学習資料展示施設（ジオスタ☆ゆざわ）」を利用したことがない利用者の中には、居住年数が10年以上の利用者においても「存在を知らなかった」とする回答者が一定程度いる。

表 12 雄勝郡会議事堂記念館を利用しなかった理由に対する居住年数別の回答割合

「雄勝郡会議事堂記念館」に対する居住年数別の回答割合	1年未満	1～4年	5～9年	10～19年	20～29年	30年以上
利用したいと考えているが、まだ時間を確保できていない	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	1.4%	7.1%
興味がなかった	25.0%	33.3%	34.8%	15.7%	14.9%	31.9%
存在を知らなかった	50.0%	38.9%	43.5%	27.5%	41.9%	17.6%

表 13 郷土学習資料展示施設(ジオスタ☆ゆざわ)を利用しなかった理由に対する居住年数別の回答割合

「郷土学習資料展示施設（ジオスタ☆ゆざわ）」に対する居住年数別の回答割合	1年未満	1～4年	5～9年	10～19年	20～29年	30年以上
利用したいと考えているが、まだ時間を確保できていない	25.0%	5.3%	4.3%	3.7%	1.3%	8.5%
興味がなかった	25.0%	26.3%	39.1%	14.8%	15.0%	19.7%
存在を知らなかった	25.0%	42.1%	30.4%	31.5%	40.0%	27.6%

■新たに整備する複合施設について

(10) 待ち合わせ・ロビー機能について（問2×問12、問2×問13）⇒報告書47～51ページ参照

- 新しい複合施設において回答者が望む空間・雰囲気（問12）や利用したい公共サービス（問13）として、待ち合わせや談笑などの行為ができるスペース（ロビー等）でくつろぐことに対して、若い世代（10代～20代）の回答割合が高い。

表 14 新たに整備する複合施設をどのような雰囲気にしたいか（問12）／どのようなことがしたいか（問13）に対する年齢別の回答割合（一部抜粋）

各設問に対する 年齢別の回答割合	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
待ち合わせや談笑などの 交流ができる場所	60.0%	48.1%	29.9%	29.0%	49.8%	43.1%	22.8%
電車の待ち時間や人との待 ち合わせの時間にロビー等 でくつろぐ	60.0%	55.6%	36.4%	40.9%	40.8%	35.8%	29.1%

(11) 学習機能について（問4×問13）⇒報告書52ページ参照

- 新しい複合施設において利用したい公共サービスとして、勉強・仕事に関連する項目に対して、高校生や大学生・専門学生の回答割合が高い。

表 15 新しい複合施設でどのようなことがしたいかに対する職業別の回答割合（一部抜粋）

職業別の 回答割合	農 林 業	自 営 業	会 社 員	公 務 員・ 団 体 職 員	家 事 専 業	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	高 校 生	大 学 生 ・ 専 門 学 生	無 職
図書を活用して 勉強・仕事をする	22.2%	23.1%	33.0%	37.3%	11.4%	37.5%	73.3%	53.3%	17.4%
勉強・仕事をする （友達と会話し ながらグループ 学習する）	11.1%	28.2%	31.7%	33.3%	14.3%	28.6%	73.3%	60.0%	17.4%
インターネット・ Wi-Fiを利用する	37.0%	43.6%	58.8%	74.5%	17.1%	51.8%	66.7%	93.3%	23.3%

(12) 既存施設を利用したことがない回答者の複合施設利用について（問 7×問 13）

⇒報告書 53 ページ参照

- 問 7 において「いずれの施設も利用したことがない」という回答者（回答者数 95 人/563 人）は、新たに整備する複合施設で市が提供する各種公共サービス（生涯学習機能、図書館機能、子育て支援機能、歴史資料展示機能、その他共有）に対して、概ね 15%以上の回答割合が得られていることから、既存施設に比べて複合施設では新規の利用者も見込まれる。

(13) 複合施設に整備してほしいと思う民間機能について（問 14）⇒報告書 54 ページ参照

- 「飲食施設（カフェ・喫茶・ファストフード等）（63.8%）」、「生鮮食品販売施設（農産物等の直売所）（31.4%）」、「温浴施設（25.0%）」、「日用品販売施設（コンビニエンスストア等）（24.2%）」、「健康増進施設（フィットネスジム等）（22.6%）」「飲食施設（レストラン等）（22.2%）」の順に回答が多い。